

第2次中期経営計画期間における事業別収支計画（平成23年度～平成26年度）（調整中）

年度別の事業費や起債額等、「数値」で示している箇所については、現時点のとりまとめ結果であり、確定されたものではありません。（今後、平成23年度当初予算編成作業の精査により修正します。）

水道用水供給事業(P32)

		(単位:百万円)				
区分		平成22年度 (補正後予算)	平成23年度 (当初予算)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的収支	営業収益	9,877	9,421	9,397	9,387	9,390
	営業外収益	206	212	290	293	221
	特別利益	-	-	-	-	-
	収入計	10,083	9,633	9,687	9,680	9,611
	営業費用	7,942	7,420	7,530	7,427	7,482
	営業外費用	1,290	1,212	1,131	1,053	904
	特別損失	5,435	1,762	-	-	-
	費用計	14,667	10,394	8,661	8,480	8,386
	純利益	4,584	761	1,026	1,200	1,225
	企業債補助金	520	-	-	-	-
資本的収支	出資金	2,135	2,069	2,065	1,262	1,209
	その他収入	14	1,935	167	212	338
	収入計	2,820	4,004	2,232	1,474	1,547
	建設改良費	1,966	1,927	2,569	3,073	2,850
	償還金	5,808	7,398	5,394	4,324	4,215
	支出計	7,774	9,325	7,963	7,397	7,065
	資本的収支不足額	4,954	5,321	5,731	5,923	5,518
	前年度末内部留保資金	13,456	13,317	12,669	11,649	10,675
	純利益	4,584	761	1,026	1,200	1,225
	当年度分損益勘定留保資金等	9,399	5,434	3,685	3,749	3,778
資本的収支不足額	4,954	5,321	5,731	5,923	5,518	
資金収支	単年度資金収支	139	648	1,020	974	515
	当年度末内部留保資金	13,317	12,669	11,649	10,675	10,160

収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み、四捨五入のため合計が合わない場合があります。

1 収益的収支

(1) 収入

- ・料金及び需要量予測から毎年度約96億円～101億円を見込む。
- ・平成23年度は、志摩市水道事業への一元化により約4億円減少。

(2) 費用

- ・市水道事業への一元化に伴い、平成22年度に約54億円、平成23年度に約18億円の特別損失を見込む。
- ・平成24年度以降は、一元化により費用が減少し、約84億円～87億円を見込む。

純利益

- ・平成23年度末は約21億円の未処理欠損金(平成25年度までに解消できる見込み)。
- ・平成24年度以降は毎年度約10億円～12億円を確保。

2 資本的収支

(1) 収入

- ・北勢広域水道拡張事業の終了に伴い国庫補助金が減少し、毎年度約15億円～40億円を見込む。

(2) 支出

- ・老朽劣化対策、耐震化対策工事等のため、建設改良費として毎年度約19億円～31億円の投資が必要。
- ・平成23年度は、志摩水道の一元化に伴う企業債の繰上償還で約16億円の増加を見込む。

不足額：内部留保資金等により補填。

3 資金収支

- ・平成26年度末の内部留保資金は約102億円を確保。

工業用水道事業(P39)

		(単位:百万円)				
区分		平成22年度 (補正後予算)	平成23年度 (当初予算)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的収支	営業収益	6,014	5,999	5,982	5,982	5,982
	営業外収益	61	42	33	33	33
	特別利益	49	8	-	-	-
	収入計	6,124	6,049	6,015	6,015	6,015
	営業費用	4,792	5,066	5,107	5,115	5,126
	営業外費用	619	559	531	489	451
	特別損失	35	32	48	46	46
	費用計	5,446	5,657	5,686	5,650	5,623
	純利益	678	392	329	365	392
	企業債補助金	1,247	1,225	-	-	-
資本的収支	出資金	1,261	1,211	1,191	1,211	1,231
	その他収入	18	2	-	-	-
	収入計	2,704	2,714	1,576	1,486	1,361
	建設改良費	2,715	3,230	3,875	3,287	3,450
	償還金	3,589	3,564	2,449	2,267	2,257
	支出計	6,304	6,794	6,324	5,554	5,707
	資本的収支不足額	3,600	4,080	4,748	4,068	4,346
	前年度末内部留保資金	14,268	13,718	12,334	10,278	8,912
	純利益	678	392	329	365	392
	当年度分損益勘定留保資金等	2,372	2,304	2,363	2,337	2,406
資本的収支不足額	3,600	4,080	4,748	4,068	4,346	
資金収支	単年度資金収支	550	1,384	2,056	1,366	1,548
	当年度末内部留保資金	13,718	12,334	10,278	8,912	7,364

収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み、四捨五入のため合計が合わない場合があります。

1 収益的収支

(1) 収入

- ・料金及び需要量予測から毎年度約60億円～61億円を見込む。

(2) 費用

- ・水源施設の老朽劣化、耐震化に伴う負担金の増に伴い、毎年度約54億円～57億円を見込む。

純利益

- ・毎年度約3億円～7億円を確保。
- ・全額を減債積立金として利益処分し、企業債の償還金に充当。

2 資本的収支

(1) 収入

- ・建設改良の財源として国庫補助金が増加するが、水資源機構割賦負担金の繰上償還の財源を除き、新規企業債の発行を行わないことから平成24年度以降減少。

(2) 支出

- ・老朽劣化対策、耐震化対策工事等のため、建設改良費として毎年度約27億円～39億円の投資が必要。

不足額：内部留保資金等により補填。

3 資金収支

- ・平成26年度末の内部留保資金は約74億円を確保。

電気事業(P47)

		(単位:百万円)				
区分		平成22年度 (補正後予算)	平成23年度 (当初予算)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的収支	営業収益	2,401	2,156	2,546	2,309	1,952
	附帯事業収益	775	804	754	774	784
	営業外収益	17	12	12	12	12
	特別利益	-	-	-	-	-
	収入計	3,193	2,972	3,312	3,095	2,748
	営業費用	2,164	1,972	2,312	2,101	1,769
	附帯事業費用	1,076	1,039	818	1,050	841
	営業外費用	187	159	130	104	79
	特別損失	59	-	-	-	-
	費用計	3,486	3,170	3,280	3,255	2,689
純利益	293	198	52	160	59	
当年度末未処理欠損金	2,517	2,715	2,663	2,823	2,764	
資本的収支	企業債補助金	-	-	-	-	-
	長期貸付金償還金	47	34	25	13	-
	その他収入	162	-	-	-	-
	収入計	209	34	25	13	-
	建設改良費	47	237	719	453	111
	償還金	553	502	507	509	440
	支出計	600	739	1,226	962	551
	資本的収支不足額	391	705	1,201	949	551
	前年度末内部留保資金	2,399	2,320	1,941	1,470	999
	純利益	293	198	52	160	59
当年度分損益勘定留保資金等	605	524	678	638	603	
資本的収支不足額	391	705	1,201	949	551	
資金収支	単年度資金収支	79	379	471	471	111
	当年度末内部留保資金	2,320	1,941	1,470	999	1,110

収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み、四捨五入のため合計が合わない場合があります。

1 収益的収支

(1) 収入

- ・営業収益は、水力発電の電力料で約20億円～25億円。
- ・附帯事業収益は、各製造施設のRDF製造量予測等から電力料及びRDF処理料金等で約8億円。
- ・電気事業全体では約27億円～33億円を見込む。

(2) 費用

- ・水力発電で約19億円～24億円。
- ・RDF焼却・発電で約8億円～11億円。
- ・電気事業全体では約27億円～35億円を見込む。

純利益

- ・水力発電事業で平成24年度以降は、約1億円を確保。
- ・RDF焼却・発電事業で収支の改善が見込まれることから、平成24年度及び平成26年度は電気事業全体で純利益が確保できる見込み。

2 資本的収支

(1) 収入

- ・長期貸付金償還金(市町振興のために一般会計を通じて行った貸付金の償還金)を、毎年度約1千万円～5千万円と見込む。

(2) 支出

- ・企業債の償還、水力発電事業の民間譲渡後における譲渡先での安定的な事業継続のための施設改良の実施。

不足額：内部留保資金等により補填。

3 資金収支

- ・平成26年度末の内部留保資金は約11億円を確保。